



2019年11月12日

各位

会社名 株式会社三洋堂ホールディングス
 代表者名 代表取締役最高経営責任者兼 加藤 和裕
 最高執行役員
 (東証JASDAQコード番号: 3058)
 問合せ先 取締役執行役員 伊藤 勇
 経営企画室長
 (TEL: 052-871-3434)

2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と 実績との差異に関するお知らせ

2019年5月14日に公表いたしました2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と、本日公表の実績値に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異
 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(単位: 百万円、百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,800	百万円 △30	百万円 △10	百万円 △30	円 銭 △4.12
今回実績(B)	9,529	△89	△59	△96	△13.31
増減額 (B-A)	△270	△59	△49	△66	—
増減率 (%)	△2.8	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	9,886	△9	△3	△2	△0.45

(差異の理由)

売上高は、主要部門である書店部門の売上高が想定以上に厳しく推移するなど、各部門で予想を下回ったことから、前回予想を2億70百万円下回る95億29百万円となりました。

また、売上高に伴って売上総利益も予想を下回ったことと販管費が予想を上回ったことなどから、営業損失と経常損失は前回予想を下回ることとなり、親会社株主に帰属する四半期純損失は前回予想を66百万円下回る96百万円となりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、各部門の売上が厳しく推移する見通しですが、販管費の見直し等を実施する予定であるため、現時点での修正はございません。

以上のことから、通期での売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利

益につきましては、2019年5月14日に発表いたしました予想を据え置いております。
今後の業績の推移に応じて修正が必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいております。従いまして、実際の業績は、今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以上